

文化博物館だよりNo. 81

みなさん、こんにちは。

今朝、明石公園の桜掘周辺を歩いてみました。堀の水もどんどん少なくなっていて、大きなアカミミガメが堀から日陰まで歩いて出てきていました。にぎった水よりも新鮮な空気を求めて散歩していたのでしょうか。本当に雨が降りませんね。

1. トンボ、チョウ、クワガタ、カブトムシも発見！ 昆虫探検隊(第3回)

6月25日(土)9:00から第3回目の昆虫探検隊を実施しました。朝から気温がグングン上がり、集まった子どもたちも保護者の方々も、少々バテ気味でしたが、先月に比べ昆虫たちが一段と増えていました。アオスジアゲハ、コシアキトンボ、ホシミスジチョウ、そして、大きな大きなカブトムシ(オス)も発見。「やったー！」という歓声が大人も子どもも大興奮。「まだ他にもいるのかなぁー。」と観察に熱が入っていきました。



すごい！大きなカブトムシ



タタキ網で観察



チョウの展翅も上達

今回はタタキ網という新たな観察道具やガラスの管に昆虫を吸い取り観察できるものも登場し、樹木についている小さな小さな虫たちを手にとったり、ルーペを使って観察しました。思いがけないところにも、小さな生命がしっかりと活動しています。

次回7月9日(土)は、県立人と自然の博物館から沢田先生に協力いただき、採集した昆虫に名前をつけていきます。その後、標本を完成させる予定です。

先日、貴崎小学校から校内で撮影された昆虫写真が送られてきました。花園小学校3年生は人と自然の博物館で昆虫ミニレクチャーを受けたようです。子どもたちの学びには「本物」が大切ですね。貴重な学習成果は夏の「昆虫展」で展示活用させていただきます。各学校からの学習報告や経過報告がありましたらお知らせ下さい。

2. 博物館ボランティア 着々と研修進行中！

6月18日(土)25日(土)、第3回、第4回のボランティア研修を実施しました。回を重ねるごとにメモをとるスピードも上がり、各自が目的意識をしっかりと持って研修が進んでいます。

第3回の研修では、常設展示の解説のあと、十二単の着付けを行い、ボランティアさんの中からモデルを選び、着付けていきました。姫路の歴史博物館で着付けボランティアを経験された方もいて、今後の活動が楽しみようです。第4回では、常設展示解説のあと、鎧兜の着付けで鎧の名称を細かく解説しながら、モデルの方に着付けていきました。鎧に身を包んだ男性は「実際にこんな重いものをつけて、戦場で走ることができるのかなー？」と言いつつ、刀を手を持ち上機嫌でした。その後、機織りの講習も受けました。ボランティアの皆さんの頭の中には、自分たちの活動イメージが一層明確になってきているようです。



十二単の着付け



鎧兜の着付け



機織りの実演

明石市立文化博物館
編集: 永田 浩史